

## 旧上瀬谷通信施設における基盤整備及び国際園芸博覧会の開催に向けた取組状況について（報告）

## 1 土地区画整理事業

令和 4 年度の土地区画整理事業の事業計画決定や工事着手に向け、地権者や国と調整を進めるとともに、環境影響評価準備書や都市計画の手続、基盤整備の詳細設計を進めています。

観光・賑わいゾーンの土地利用については、地権者で構成する「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」が、検討パートナーの「三菱地所株式会社」とともに、テーマパークの検討を深度化しています。

## 2 新たな交通の導入・周辺道路整備

## (1) 運行事業者の事業参画に向けた調整

## ア 検討依頼

新たな交通について、運行事業者の決定、その後の軌道法に基づく特許申請に向けて、9月7日に新交通システムの運行実績を有する、株式会社横浜シーサイドライン(以下、会社とする。)へ事業参画の検討を依頼しました。

## イ 検討結果・回答

依頼を受け、会社が設置した「経営方針裁定会議(以下、会議とする。)」が外部有識者を交える形で3回、開催され、検討が行われました。

会議の検討結果を受け、会社の意思決定が行われ、11月25日に市に対して、「現時点で軌道事業者として事業参画しないことに決定した」との回答がありました。

## (2) 今後の進め方

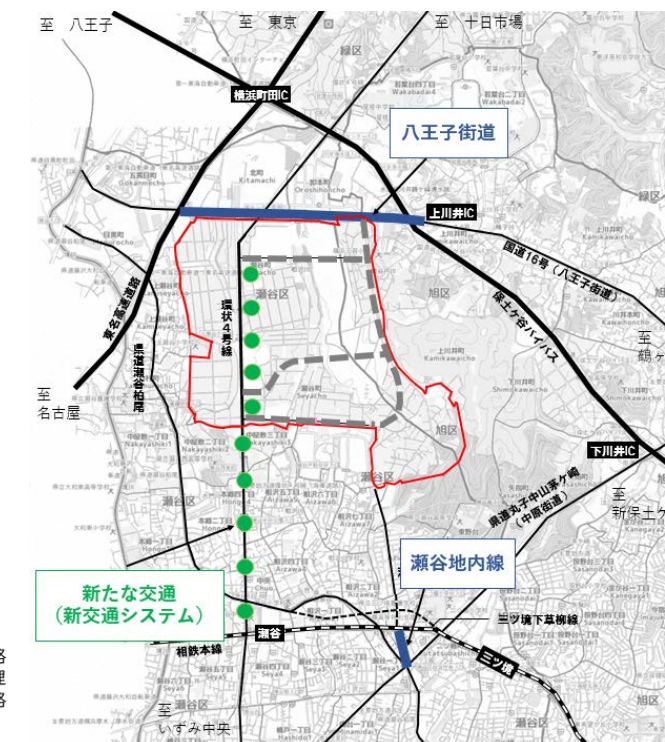
年内の運行事業者の決定や速やかな特許申請は困難であり、スケジュールの見直しが必要です。このため、国際園芸博覧会開催時の新交通システムの活用は難しい状況です。

新たな交通については、会社からの指摘に対する対応を整理するとともに、将来のまちづくりの進捗に合わせた整備スケジュールや事業の採算性など、新交通システムの事業性について、引き続き検討を進めます。

## (3) 周辺道路整備

八王子街道は、拡幅整備に向け、交通管理者等との協議を進めるとともに、用地取得に向け、引き続き、地権者交渉を実施しています。

瀬谷地内線は、6月の事業認可取得後、詳細設計や測量作業を進めるとともに、用地取得に向け、地元調整を開始しました。



## 3 国際園芸博覧会の輸送アクセス計画

これまで、新たな交通による輸送のほか、周辺の鉄道駅からのシャトルバス運行、パーク&ライド、自家用車や団体バスなど、複数の手段による対策を検討してきました。

新たな交通の現段階の検討状況を踏まえ、周辺の鉄道駅からのシャトルバス運行を中心とした対策の検討を進めます。

併せて、速達性や定時性を確保するため、バスルートや運行車両の具体的な対策など、会場周辺の交通特性に合った輸送システムについても検討を進めます。

#### 4 一般社団法人2027年国際園芸博覧会協会の設立

11月15日、国際園芸博覧会の開催運営等を行う「一般社団法人2027年国際園芸博覧会協会」の設立時社員総会・第1回理事会を開催し、博覧会協会を設立しました。

博覧会協会は、国や本市と連携しつつ、国が行うBIE（博覧会国際事務局）への認定申請の準備を行います。また、博覧会基本計画の策定や会場整備等、開催に向けた準備を進めていきます。



<設立記念撮影：博覧会協会役員及び来賓（斉藤鉄夫国土交通大臣・金子原二郎農林水産大臣）>



<十倉 経団連会長 挨拶>



<山中 横浜市長 挨拶>

#### 5 AIPH（国際園芸家協会）への報告

令和元年9月にAIPHより開催承認を受けたのち、半年に一度AIPH 博覧会委員会において取組状況の進捗報告を行っており、令和3年10月19日に、博覧会委員会がオンラインで開催されました。

その中で、6月に政府の閣議了解がなされ、国がBIE（博覧会国際事務局）への認定申請に向けた手続を進めていくこと、また、広報PRの活動内容や、事業の検討状況等について報告を行いました。



<進捗報告>



<メインテーマ>

#### 6 広報PR

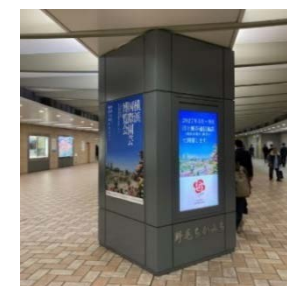
今年度は、花や緑に関心のある市民や団体のほか、子どもや若者など幅広い層に園芸博の開催を知っていただけるよう、市内の関係団体と連携しながら、国際園芸博覧会の認知度向上に努めています。

今後、博覧会協会の設立に伴い全国的な広報活動が展開されていきますが、開催地となる本市としても、協会と連携して市内の広報PRを積極的に図っていきます。

##### 【参考】最近の取り組み例

##### (1) 鉄道駅や野毛ちかみちでのPR

相模鉄道、東急電鉄、横浜高速鉄道、市営地下鉄等の駅構内、野毛ちかみちでPR <R3年7月～>



<野毛ちかみちのサイネージ>

##### (2) PR動画

小学生向けの周知動画の作成 <R3年9月～>



<PR動画>

##### (3) キリングroupとの連携

一番搾り「みんなで2027横浜国際園芸博覧会を応援しよう！キャンペーン」デザインパック、生茶デカフェ「2027横浜国際園芸博覧会」デザインラベルの発売<R3年9月～>



<商品発表の様子>

##### (4) 大観覧車コスモクロック21でのPR

大学生の企画により、大観覧車にロゴマーク等をライトアップ<R3年12月4日>



<コスモクロック21>

##### (5) その他PRツール

園芸博ニュース3号の発行<R3年10月>、民間企業等への説明用パンフレットの作成<R3年10月>、公園愛護会等の活動向け園芸用手袋の作成<R3年11月>



<推進ロゴマーク入り手袋>